

一般社団法人日本保健医療社会福祉学会2023年度事業報告

2024年9月15日 2024年度通常総会にて承認

2023年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染状況の変化に伴い対策の軽減化が打ち出されたが、感染の影響はまだ収まりを見せておらず、各種事業や諸会議はすべてオンライン形式で開催した。また、過年度に発刊した「医療ソーシャルワーカー関係資料集成」の「刊行の辞」について理事会にて議論を深めた結果、「刊行の辞」を差し替える形をとった。さらに年度後半においては、選挙により多くの役員交代があり、会長を始め新役員体制に移行した。年明けに発生した能登半島地震では、被災者への支援活動に取り組むべく委員会を設置した。

各事業の執行状況は以下のとおりである。

(1) 研究活動

1) 第33回大会の開催

- ・開催日時：2023年9月17日（日）10：00～16：50
- ・開催方法：ライブオンライン開催
- ・テーマ：臨床の本質に向かう～ソーシャルワークの基軸を成すもの～
- ・プログラム

10：00～12：00 自由研究発表

13：00～14：30 基調講演

「臨床の本質に向かうとは」

講師：松澤 和正（前帝京大学 医療技術学部教授）

座長：宮崎 清恵（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部教授）

14：40～16：50 事例部会

「どうして私は救急医療へと向かうようになったのか—オートエスノグラフィーへの挑戦—」

座長：野村 裕美（同志社大学 社会学部教授）

報告者：内田 敦子（前東海大学医学部 附属病院）

基調講演者：松澤 和正

- ・参加者：会員72名、非会員63名、学生5名 計：140名

2) 学会セミナーの開催

- ・開催日時：2024年3月24日（日）13：00～15：00
- ・開催方法：ライブオンライン開催
- ・プログラム

「医療専門職に求められるコミュニケーションスキルの教育と評価」

講師：藤崎 和彦（岐阜大学 医学教育開発研究センター教授）

- ・参加者：会員36名、非会員22名、学生2名、 計60名

(2) 出版活動

1) 学会誌

- ・『保健医療社会福祉研究』第32巻の発行
 - ・第30巻、第31巻のJ-stage 搭載
 - ・2024年度以降のJ-stage オープン誌化に向けての検討を行った
 - ・EBSCO への論文収録契約をした（契約締結：2023年11月12日）
 - ・2024年-2027年度の査読委員を更新した（新査読委員36名）
- 2) 『臨床推論』（仮）の出版準備
スーパーバイザー選出準備
 - 3) 『災害ソーシャルワークの確立Ⅱ』の出版準備
出版内容の概要・目次等を検討したが、その後の災害関連制度の変化や災害ソーシャルワークの現状等を勘案した結果、本書の企画を根本からあらためることとし、一旦取り下げることにした。
 - 4) 『医療ソーシャルワーカー資料集成』出版後の対応
出版された「医療ソーシャルワーカー資料集成」において、「刊行の辞」の記載内容について理事会で相当の議論を重ねた。その結果、医療ソーシャルワーカーの重要な歴史的道程の記載を不可欠とし、増刷を機に「刊行の辞」を書き換えた。さらに初版購入者を含めそれを差し替え、学会ホームページにも全文を掲載した。

(3) 会計

- 1) 事務局と連携し、会計処理および会計諸表の作成を行った。
- 2) ホームページに、総会で承認を受けた2022年度収支報告書、貸借対照表を掲載した。
- 3) 過年度会費未納者への個別対応を実施した。
- 4) 法人住民税に関して、大阪府に減免継続申請及び大阪市に申告書を提出した

(4) 広報

- 1) 学会ニュースの発行
 - ① VOL. 32-1号 2023年5月23日発行
 - ② VOL. 32-2号 2023年9月8日発行
 - ③ VOL. 32-3号 2023年12月20日発行
- 2) 学会ホームページの充実
 - ・ホームページの更新（9回）
 - ・「ソーシャルワーカーの臨床カルパル」 「宝のことば」の掲載準備
- 3) 学会案内リーフレットの配布
- 4) 第30回大会DVDの実費頒布
残127枚

(5) 渉外

- 1) ソーシャルケアサービス研究協議会への参加
 - ・会議への出席

- 2) 日本社会福祉系学会連合への参加
 - ・総会への出席
 - ・大会補助金を申請し、承認された。
 - ・アンケートや調査に協力した

(6) 救急認定ソーシャルワーカー認定機構

- 1) 理事の選出及び理事会への参加
- 2) 日本臨床救急医学会との認定・研修事業の共同実施
認定研修（11/25-26）、オンラインセミナー（2/27）、アドバンス研修（3/10）の企画
- 3) テキスト改定作業への参加

(7) 新規事業に関する検討

2023年度事業計画に位置付けた以下の6項目のうち、4) 災害支援体制については、能登半島地震の支援活動に向けて委員会を設置し、支援体制を立ち上げた。

- 1) 公的助成金による研究・出版活動
- 2) 研修受託に関する事項
- 3) 学会認定事業
- 4) 災害支援体制
- 5) 企業との共同事業
- 6) その他、本学会の発展に資する事業

(8) 能登半島地震支援（新規事業）

2024年1月24日「能登半島地震災害支援活動に関する委員会」を設置し、学会としての支援活動の準備を開始した。京都を中心に県外避難者への支援を想定しチラシを作成、行政、関係機関、マスメディア等に働きかけを行った。会員にはハガキでお知らせし、ホームページにて支援活動に関するアンケートを実施した。

(9) 事務局活動

- 1) 学会運営体制の充実
 - ・学会事務局に届く外部からの問い合わせ等を検討し、必要に応じて理事会对応とした。
 - ・理事会議事録や資料等の保管作業を進めた。
 - ・会員原簿管理に関し、検討を要する事項に対応した。
 - ・理事会用メーリングリスト及びZoom会議アカウントの運用を開始した。
- 1) 長期会費滞納会員について会計と連携し、督促や連絡方法等の検討、対応を進めた。
- 2) 理事会の開催（第4回及びメール稟議を除きいずれもWeb会議）
 - 第1回：2023年5月31日（水）19：00～22：13
 - 第2回：2023年7月25日（火）19：30～23：05

第3回：2023年8月15日（火）20：00～22：20

第4回：2023年9月17日（日）17：35～17：45

同志社大学新町キャンパス溪水館1階会議室及びWeb会議

第5回：2023年10月8日（日）20：00～22：23

第6回：2023年11月28日（火）20：00～22：16

第7回：2024年1月24日（水）20：00～22：55

第8回：2024年3月14日（木）19：30～21：43

メール稟議①：2023年4月8日（土）

メール稟議②：2023年4月17日（月）

メール稟議③：2023年5月1日（月）

メール稟議④：2023年6月29日（木）

メール稟議⑤：2023年9月11日（月）

メール稟議⑥：2024年2月1日（木）

メール稟議⑦：2024年3月31日（日）

3) 2023年度事業計画及び2022年度事業報告の作成

4) 日本学術会議、他学会等との連携（渉外担当の団体は除く）

他学会、他団体より学会事務所に届いた情報は、理事会もしくは事務局で適切に対応した。

5) 2023年度通常総会の開催

2023年9月17日（日）17時～17時30分 同志社大学新町キャンパス溪水館1階会議室

6) 会長及び役員交代に伴い法務局、税務関連機関、関係団体に変更届を提出した。

（10）役員選挙の実施

選挙管理委員会 〒131-0046 東京都墨田区京島1-8-8 No.36

一般社団法人WITH医療福祉実践研究所 気付

選挙管理委員長 佐原 まち子

投票期間：2023年7月18日（火）～7月29日（土）

開票日時：2023年8月1日（火）

結果は、2023年9月17日（日）の通常総会にて報告、承認された。

《会員数（2024年3月31日現在）》

正会員：254名 準会員：4名 名誉会員：2名 合計：260名